



プロフィール

出身地:京都府

採用年:令和2年度

ひとこと:良い職場ですよ

Q1 仕事をする上で大切にしていることは？

「すべては患者さんのために」

物事を決めるとき、何を基準とするかで判断が変わります。迷ったときは、この言葉をバックボーンとして、物事を判断するようにしています。

Q2 業務概要

医事・業務担当として、診療報酬請求業務※1とその監理が主な仕事内容です。患者さんや健康保険組合への請求作業は外部委託しているので、私はその監理という立場で病院の適正かつ適切な収入確保に努めています。病院には医師や看護師をはじめ多くの医療職がいます。その方々から、診療報酬の算定要件や、診療費算定の運用方法等について相談が寄せられるため、その対応をしています。疑義解釈や国からの通知の解釈に困ることも、しばしばありますが、その場合は管轄する行政庁に問い合わせたり、これまでの人脈を通じて外部の知見を取り入れる等、知識と経験を生かして業務にあたっています。自分が対応した案件の運用フローが改善されることや、病院の収益が改善することは、最終的に患者さんに医療サービスとして還元されていきます。それが、私の職務満足度の維持向上につながっています。それ以外に、新たな施設基準※2の検討を通じて、診療機能と収益性の向上について提案することも、重要な仕事です。診療サイドから検討を要請されることもありますし、個人の問題意識から検討を開始することもあります。いずれにせよ、病院の診療機能を左右することもあり得る、とても重要な仕事に携わっていることに、大変やりがいを感じています。

※1 診療報酬明細書(レセプト)を作成し、保険者(健康保険組合等)へ提出する業務。この明細書をもとに保険者から保険料が支払われ、これを元に病院運営が行われている。

※2 診療行為の中には、保険医療機関が一定の人員や設備を満たす必要があり、その旨を地方厚生局に届け出て初めて点数を算定できるものがあります。この満たすべき人員や設備のこと

Q3 休日の過ごし方

二人の子供がいますので、習い事の送迎や遊び相手、サッカーの練習に付き合ったりしています。子供はいつも全力なので少々疲れることもありますが、日ごろの運動不足解消と良い気分転換になっています。ランニングもしていたのですが、各地のマラソン大会が軒並み中止なので、最近はさぼり気味……。もちろん家事もやっています！共働きなので、掃除や洗濯、ごくたまに料理も。得意とは言えませんが、努力することが家庭円満の秘訣です。

Q4 市立病院機構を目指す方へのメッセージ

当機構は、1法人で2病院を運営する「まあまあ大きい」組織ですが、全体が見えないほど巨大ではありません。組織が大き過ぎると個人が埋没してしまいますし、小さ過ぎると何か提案しても物理的に不可能だったりしますが、当機構は、ちょうどいいサイズ感で、自分のアイデアや考えを発信することができる環境があります。社会人経験者として採用された方は、全員オンリーワンの存在で、それぞれの経験と知識を生かして活躍されています。ステージは用意されているので、あとは本人のやる気次第で未来が広がります。

Q5 1日のタイムスケジュール

